

第4回 郡上市男女共同参画推進審議会 要録

日 時 令和2年1月27日(月)午後1時30分から午後2時30分

場 所 郡上市役所 4階 大会議室

出席者 和佐田裕昭委員、奥村文乃委員、石山加代子委員、美谷添晃委員、小畑裕己委員、古橋容子委員、原早奈江委員、山下優子委員、池場利廣委員、日置次郎委員、尾藤望委員

職務による出席 日置市長公室長、河合企画課長、高田課長補佐、松井主事

会議内容

1. 開会(河合課長)

2. あいさつ

山下会長： 忌憚ない意見と時間通りの進行にご協力をお願いします。

市長公室長： 本日も引き続き、第3次郡上市男女共同参画プランのご審議をよろしく願います。

3. 議事

(1) 第3回審議会の振り返り

高田課長補佐： 資料①『第3回男女共同参画審議会の振り返り』『第3次郡上市男女共同参画プラン』朱書きの箇所を説明

委 員： P.26の岐阜県内の女性自治会長の割合が40%となっているが、4%ではないか。

委 員： P.16の「家庭課」という字が間違っている。

事務局： ご指摘いただいた箇所も含めて、全体の誤字脱字を確認して修正する。

委 員： P.25の「事業後継者」は、「事業承継者」と記載した方が一般的な表現であり、対象の幅が広がると思う。

委 員： P.17の「LGBT等(性的マイノリティ)について」は「LGBT等性的マイノリティについて」という表現にしてはどうか。

(2) 第3次郡上市男女共同参画プランについて

高田課長補佐： 『第3次郡上市男女共同参画プラン(案)』基本目標Ⅲを説明

<基本目標Ⅲに関して>

委 員： 「相談員の資質向上」とあるが、講習会の先生や相談員によって対応の仕方が違った

り、言っていることが違ったりする。具体的にはどのようなことを行って質を向上させるのか。

委員：「関係機関との連携強化」について、現在の体制と何が違い、何を強化するのか具体的に教えていただきたい。

事務局：児童家庭課から詳しいことを聞き、プランに反映させていく。また、次回の審議会でご説明する。

委員：DVの相談窓口は多数存在する。それぞれバラバラでやっている印象がある。相談を受けた側も、次のステップとしてどこを案内していいのか迷うところがある。児童虐待についてはいち早く通報できる番号があるが、DVに関してそういった番号や総合的な窓口は存在するのか。

事務局：現状は窓口の一本化は存在しない。

委員：市単独の問題ではないが、専門性が高く、ここに相談すれば安心という窓口が固まると良い。「いのちの支え合い虐待防止推進協議会」で実際に直接の窓口になっている方を集めた検討会を開催すると良い。

委員：学校関係者が協議会に入ることはあるのか。

委員：DVは児童虐待に繋がる場合があるため、個別ケース検討会等に参加することがある。もうすでにやっていることであるが、人の数や体制が脆弱ではないかと思う。

委員：セクハラ、パワハラに関して職場に相談したことがあるが、職場が取り合ってくれなかったことがある。ここに相談すれば解決できるという窓口が無く、様々な場所に行ったが、結局自分で職場と交渉しなければならず、辛かった。包括して対応してくれる窓口があると良い。大きい企業はパワハラ、セクハラ相談対応を徹底しているが、小さい企業も商工会等と連携しながら相談体制を作ってくれれば良い。

事務局：窓口の件だが、窓口を一本化したらいいのか、幅広く対応できるようにした方がいいのか話し合いをしたことがあり、現在は幅広く対応できるように窓口が数多くある。窓口を広げ、最終的に一本のところにつなげるような体制にしていくことが重要だと思う。

委員：人権擁護委員としても、窓口は広げてやっている。

委員：窓口が多くあっても、最終的に一つのところに繋がり、どこに相談しても安心できる体制にして欲しい。

委員：相談窓口が多いことは良いこと。広がっていることが踏まえて、相互で研修を行ったり、連絡体制や情報共有を強化したりすることが大切。どこに行っても同じ質が確保できると良い。とりあえず市の窓口だけでも担当者にアンケートを取り、担当者が困っていることや改善点を洗い出すことも質の向上につながると思う。昔より気軽に相談できる場所が増えているが、高齢者が相談できる場所が少ないようにも見える。また、DVを通して依存してしまっている家庭が存在するため、事例やケースを相談に関わる人で共有できると良い。

- 委員：昔は相談すると直接警察に案内されることが多く、相談をためらう人が多かった。
現在はまずは話を聞いてもらえる窓口が多くあるので、いい世の中になったと思う。
- 委員：「女性に対する暴力の根絶」という言葉を「配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶」に変更したのはとても良いことだと思う。窓口に関して、幅広い複数の窓口があって、最終的に一つの場所に行き着く流れがあると良いという意見が出ているが、そのような道筋は立っているのか。
- 事務局：場合によっては情報共有をすることがあるが、まだ個々の窓口で完結している状況であり、まだ道筋は立っていない。最終的に専門のところに行きつく流れになっているのかはまた関係課から聞き取りを行い、次回詳しくお話しする。
- 委員：入り口は広く、出口は一つにというようになると良い。

<全体に関して>

- 委員：自治会での女性意見の反映に関して、まずは女性に自治会に参加してもらうことが大切。出席しないと意見を言うことができず、意見を聞けないと反映することも難しい。女性にも自治会に参加して欲しい。
- 委員：介護サービス等の充実に関して、介護施設の増設とあるが、現状は施設ができてても介護職員が足りないという状況。働く人がいて、増設して、サービスが充実していけたらいい。
- 委員：今後これらの施策の進捗はどのように図っていくのか。
- 事務局：今後、施策に事業を当てはめ、具体的に進めていく。事業において進捗を管理していく。数値目標としては目標指標を掲げている。

5. その他

- 事務局：次回までに体制図、用語集、条例、事業図等をつけてプランを完成させる。
今後は答申案を作成し、市長に審議会から提出する。今回は2月28日を予定している。

6. 閉会（河合課長）

池場副会長：次回2月28日にまたご出席いただき、ご審議をお願いします。

以上、14時30分終了